

平成28年5月24日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 笠原 久恵 様

議会報告会 3班
班長 斉藤 真理
西尾 段
大塚 洋一
笠原 久恵
楠山 栄子
乾 紳一郎
海老原 功一

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成28年5月15日（日）
午前9時30分～午前11時45分
※当初11時30分終了を予定していたが、
市民の方の活発な発言、質問により約15分
延長した。
- 2 場所 東部公民館
- 3 欠席議員 無
- 4 参加者数 17名
(内 市民13名、議員2名、職員2名)

5 報告内容

(1) 農業振興資金融資制度の制定について（代表報告）

(2) 各議員から一般質問について報告

- ①西尾「幅広い世代に市政に興味を持って頂く活動について」
- ②大塚「環境対策について」
- ③笠原「流山の保育について」
- ④斎藤「高齢化対策としての公共施設のバリアフリー化について」
- ⑤楠山「ぐりーんバスについて」
- ⑥乾 「貧困対策について」

6 意見交換内容

(1) 農業振興資金融資制度の制定について（代表報告）

【質問】利子補給については、利用者にとっては実質金利がゼロになると考えて良いか。

【回答】その通りです。

(2) 各議員から一般質問について報告

※質問に対する回答は、それぞれ報告した議員が行いました。

①西尾「幅広い世代に市政に興味を持って頂く活動について」

【質問】30歳代や40歳代のおじさん世代から地域の活動に参加するのではなく、小中学生の頃から地域の活動に参加できるような働きかけが重要ではないか。

【回答】小中学生は流山市内で生活することがほとんどで、高校生、大学生、社会人と成長するにつれて市外で生活する時間が増えてくるため、小中学生から地域の活動に参加できる様な働きかけは重要と考えています。

②大塚「環境対策について」

【質問】環境対策の様な全市に関わる案件については、会派にこだわらず勉強会などをやると良いのではないか。

【回答】委員会として先進事例を学ぶために視察をしたり、講師を招いて勉強会を実施したりしています。

③笠原「流山の保育について」

【質問】流山市と東京の北千住では、保育士の賃金は北千住の方が月額10万円ほど高い。流山市でも保育士の賃金をあげてはどうか。

【回答】現在、自治体ごとの係数を国が決めており流山市の賃金を上げる事は難しい。現在では住む場所の提供や、学費の貸付などで対策しています。

④斎藤「高齢化対策としての公共施設のバリアフリー化について」

【要望】市議会議員や市長、副市長の賃金や政務活動費などの経費を返上して、予算が足りない案件にまわすべきだ。

⑤楠山「ぐりーんバスについて」

【要望】鹿児島では2日前に予約すれば必要な場所に連れて行ってくれる「どんがタクシー」という仕組みが有る。大手の企業にバスの運営を依頼すると高くつくのでそのような手法も検討してほしい。

⑥乾「貧困対策について」

【要望】生活保護の拡充は必要とも考えるが不正受給の対策を並行して考えてほしい。

7 参加者から議会への要望

- 議会の議員の席を傍聴者から議員の顔が見える様に配置を変えてほしい。
- 議員と市民の距離が近い議会報告会の取り組みは評価できる。
- 議会の傍聴について、一部の議員の支援者が来るだけでなく、支援している議員以外にも興味を持って傍聴者を増やしてほしい。
- 傍聴者を増やすのは議会に要望することではなく市民が知り合いを誘っていくなど、市民側が努力することだと思う。
- 議会で配布される資料を傍聴者も見られる様にしてほしい。

8 所感

■ 乾 紳一郎

昨年秋の議会報告会から3班では各議員の一般質問について報告することになりましたが、今回2回目で、それぞれ準備をして報告が行われ、内容的にも良かったと思います。7人の議員全員が参加する全員参加型報告会として、貴重な経験だったと思います。課題は、参加した市民もまたみんなが発言できるような（もちろん参加者が多ければ難しいのですが）運営をどうしたら出来るかということだと思います。

私は今回、農業問題で報告をしましたが、当局にも協力してもらい流山市の農業についてアウトラインを理解してもらえるよう、自ら調査もしました。自分にとっても、いい機会をもらったと思います。流山市の農業は、農家、就農者、耕作地がどんどん減少し、高齢化と後継者不足が深刻です。いっぽうで、大消費地が近いという優位さを生かせば、地域の産業として盛り上げていくことも可能だと思います。そのために、農家や農協など関係者、行政、議会がいっしょに考えていくことが大事です。今回の報告会がその一助になれば幸いです。

参加された市民の方は常連が多かったように思いますが、質問や意見が議員を育てようという角度からの発言もあり、ありがたいことだと思いました。私たち議員が、市民から学び、市民の声を励みに、これからも、誠実に議会活動を推進していく責任があります。

■ 斉藤 真理

内容的には、市民経済委員会で審議した内容と、それぞれの一般質問からの報告と言う事で、議会報告会の趣旨にあった内容で良かったと思う。

ただ、発表の時間が長かったことと質疑された市民の方が限られてしまったことでせっかく来てくださった方の中に、発言の機会が無かった方が多かった事は残念だった。今後は、もう少し、来てくださった市民の方がなるべく多く発言できるような工夫や、懇談的に進められるような雰囲気作りも必要ではないか。

参加者の世代的には、どうしても高齢者の方が多くなりがち。いろいろな世代の方に興味を持って参加して頂くにはどうしたらよいか、検討が必要だと感じた。

■楠山 栄子

私たちの班は、所属議員の一般質問をテーマとして今回が2回目である。議員全員が均等に発表することができるというメリットがあり、好評であるが、今回は議員の説明に時間を取り、市民の方の質問の時間がなくなってしまった。議員と市民との貴重な意見交換の場という点から、次回はぜひとも改善したい。

■笠原 久恵

内容については、前回より各議員より一般質問の発表をしていますが、各議員の様々な分野の話が聞けて良いという言葉も個人的に聞いています。そして市民経済委員会の所感である農業関係の委員会報告も良かったと思います。しかし、運営の面で質問者の時間など時間配分やより多くの参加者のご意見を伺う事についても課題があると感じました。前回の参加者を考えますと20名弱の多くの人がお越しくくださったと思いますが、さらに声かけなどにも課題があると思います。私の反省としましては、パワーポイントで説明を致しましたが、参加者に分かりやすい資料の配布にも努めたいと思います。

■大塚 洋一

前回の報告会より参加者が多く、少し安心しました。私たちの班は共通のテーマの他に議員一人一人が特徴を出した報告をしており良い傾向である と思います。

本日の一般の方の質問やご指摘は、それぞれの内容について頂くことができた点は良かったと感じましたが、発言のなかった市民の方もわざわざ足を運んでくれていることを考えると、「一言でも何かありませんか」と開催側から投げかけることも、次にまた来ようと思って頂けるきっかけになるといった点で、必要ではないかと感じました。

■西尾 段

良かった点は、市民の方が13名参加と言うことで前回よりもかなり多かった点です。反省点は3点あり、各議員の発表が予定よりも長くなり質問時間を十分に取れなかった点。質問者が一部の市民に偏ってしまい発言できなかった市民が複数名いた点。時間通りに終えられなかった点です。今回の反省点を、今後の議会報告会の開催手法、広報活動などに活かして参ります。

以上